

な

にげなくめぐっていた時計  
専門誌の、巻末の情報欄の  
小さな写真が、そもそも出会い  
であった。

この美男たちは、いったいなに  
じとあります?!

いや、顔の造作がどうというの  
ではない。きりりとした強い目線、  
まっすぐにのびた首筋、ずっと結  
ばれた口元から、えもいえぬ、り  
りしきオーラが漂っているのであ  
る。今の日本に、こんな美しい若  
者たちがいたとは。

背景の垂れ幕に読める文字は、  
「東京ウォッチテクニカム」。写真  
は、イススの時計技術者育成機関、  
WOSTEP(ウォステップ)のパート  
ナーシップ校である同校の、第2  
期生12名に対する「WOSTEP認定  
授与式」で撮られたものらしい。  
いったいどういう教育が、こん  
な美しい人間をつくるのか?

ひたすらそれを知りたい、と思  
つて一步足を踏み入れた「東京ウ  
ォッチテクニカム」は、空氣から  
して「ここは日本ではない」と感  
漂う。どこまでもクリーンで、張  
り詰めた静かさで満たされている。  
「ここは日本じゃない、ということ  
は、学生たちにもよく言いかけ  
ています」とアドミニストレイテ  
ィヴ・コーディネーターの羽立昌  
代さん。彼女自身も、時計技術者  
としてイススで学んだ経験をもつ。

「この学校では、時計の技術を教  
えてはおりますが、育てているの  
は、なによりも人間だと思ってい  
ます。時計業界のリーダーとなる  
人間、およびその卵を育てるつま  
いで、わたしたちは、日本の教育の  
現状と、真正面からぶつかったって  
いるのですが」

リーダーにふさわしい技術  
者……って、具体的にどういう人  
でしょうか? 「自己確立ができる人。そし  
てマニアックではなく、バランス  
感覚のいい人」と羽立さんは、言  
い切る。「時計は、0・0何ミリと  
いう世界。ある一線を超えると時  
計を壊してしまうけど、そのぎり  
ぎり直前まで可能性を試す必要が  
あるとき、その限界の見極めは、  
しっかりと自己を確立した人でな  
いと無理なんです。自分がない  
人は、発展が認めません」

なるほど、まずは周囲と同調す  
ることが大切とされる日本の教育  
では、こういう人材を育てるのは、  
難しいかもしれない。それにしても、  
日本でも時計技術者を養成し  
てきたと思うのですが、日本式と  
イスス式の違いというのは、ある  
のでしょうか?

「つべこべ言わずにはまつてやり  
なさい、というのが旧来の日本式  
でしょうか。イスス式では、まず、  
基礎の段階で、理論を教え込みま  
す。なぜ、なぜ、なぜ、それをひ  
とりひとりに徹底的に考え方させま  
す。理論と技術が一体となつてこ  
そ一人前、とみなすのです」

白衣も板についた感のある、2年  
生の日高光詞さん(25)と、高木  
勝利さん(23)。ちなみに、1年生  
が着るのは、カーキ色の作業着で  
ある。

学生さんにも、聞いてみよう。  
白衣も板についた感のある、2年  
生の日高光詞さん(25)と、高木  
勝利さん(23)。ちなみに、1年生  
が着るのは、カーキ色の作業着で  
ある。

Who's who®

# 11人 の 未来 の 時計 技術 者



木さん。お休みの日は、どう過ご  
しているの?

わりだったけど、この学校では、  
なぜ失敗したのか、考える必要に  
迫られる。

時計を組み立てるのを通して、  
自分の考えと人生を責任をもつて  
組み立てることを学ぶ。そうして  
獲得したりりしい顔は、WOSTEP  
修了認定証と同様、世界のどこく  
行こうと、一流のあかしとして  
通用すると思います。■

木さん。お休みの日は、どう過ご  
しているの?

「ここで学んで、失敗したときの  
考え方が変わった」という日高さ  
んのことが印象的だった。「これ  
までは、やってしまったし、で終

東京ウォッチテクニカム  
〒135-0016  
東京都江東区東陽3-28-6  
TEL:03-5857-2308 www.t-wt.jp

中野香織=文  
text:Koton Nakano  
福知彰子=写真  
photographer:Akiko Fukuchi